



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月31日
東

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所
 コード番号 9709 URL https://ncsa.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 隆博
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員専務 (氏名) 山口 満之 (TEL) (06)6946-1991
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	14,398	9.2	449	—	477	—	360	—
2018年3月期第3四半期	13,183	1.5	△360	—	△329	—	△488	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 344百万円(—%) 2018年3月期第3四半期 △401百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	19.58	—
2018年3月期第3四半期	△26.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	15,565	8,774	56.4
2018年3月期	14,884	8,568	57.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 8,774百万円 2018年3月期 8,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想の修正につきましては、本日(2019年1月31日)公表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	6.4	600	637.1	700	276.4	550	—	29.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2019年1月31日)公表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	20,000,000株	2018年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,572,005株	2018年3月期	1,596,331株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	18,416,055株	2018年3月期3Q	18,446,562株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題の動向や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響が懸念される中、設備投資は増加し、企業収益や雇用環境にも改善が見られるなど、緩やかな回復が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、企業収益の改善にともない、顧客企業におけるIT投資需要は引き続き堅調に推移いたしました。AI、IoT、ビッグデータ、ブロックチェーン等の技術を利用する新しい製品、サービス、ビジネスモデルで競争上の優位性を確立する「DX（デジタルトランスフォーメーション）」への取り組みや、RPA（ロボティックプロセスオートメーション）、テレワークといった「働き方改革」の実現に向けたIT活用など、ITの積極活用による経営戦略実現を目指す企業のIT投資動向は強まり、今後もIT投資需要は拡大していくものと予想されております。

このような環境のもと、当社グループは、安定した収益基盤の確立に向け、積極的な受注活動を推進し、事業拡大に注力するとともに、システム開発作業の効率化やPMOの体制強化による不採算プロジェクトの発生防止、社内業務プロセスの簡素化によるコスト削減など、収益構造の改善に取り組みました。

具体的には、ホテルシステム事業が引き続き好調を維持するとともに、自社開発製品である金融業向け個人信用情報接続ソリューション「Ccms（シーシーエムエス）」、システムの可視化ソリューション「REVERSE PLANET（リバースプラネット）」等の導入拡大に努めました。また、当社が「主力ソリューション」と位置付ける他社製パッケージの導入・カスタマイズや、システム共通基盤「intra-mart（イントラマート）」を利用した民間企業向けシステム開発の需要が旺盛であり、当社独自のマイグレーションツール「AIRS（エアーズ）」を活用したマイグレーション案件の受注も順調に推移いたしました。

大手SIerからの受託開発事業につきましては、得意分野への集中を進める中で、当第3四半期連結累計期間におきましても、金融分野の大型案件への参画にともない売上、利益ともに堅調に推移いたしました。

AIの取り組みにつきましては、「IBM Watson Explorer」を利用した業務イノベーション支援サービスの受注を獲得いたしました。今後もさらに受注活動を展開し、既存顧客へのサービスの提供や、新規顧客の獲得につなげてまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ12億15百万円（9.2%）増収の143億98百万円となりました。利益面につきましては、増収効果、並びに収益構造改善及び一般管理費抑制による利益率改善により、営業損益は前年同四半期に比べ8億10百万円改善の営業利益4億49百万円、経常損益は前年同四半期に比べ8億7百万円改善の経常利益4億77百万円、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同四半期に比べ8億49百万円改善の親会社株主に帰属する四半期純利益3億60百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は155億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億81百万円増加いたしました。流動資産は131億80百万円となり、7億51百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加(5億46百万円)、仕掛品の増加(3億73百万円)、商品及び製品の増加(3億45百万円)、受取手形及び売掛金の減少(3億5百万円)、有価証券の減少(2億17百万円)等であります。固定資産は23億84百万円となり、69百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の減少(1億5百万円)等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は67億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億75百万円増加いたしました。流動負債は34億17百万円となり、4億44百万円増加いたしました。主な要因は、賞与引当金の増加(1億12百万円)、その他に含まれる前受金の増加(1億1百万円)、短期借入金の増加(1億円)、支払手形及び買掛金の増加(90百万円)等であります。固定負債は33億73百万円となり、30百万円増加いたしました。主な要因は、退職給付に係る負債の増加(38百万円)等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は87億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加(12億77百万円)、資本剰余金の減少(10億61百万円)等であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.6%から56.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては2018年5月15日に公表いたしました2019年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2019年1月31日)公表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,779,858	7,326,489
受取手形及び売掛金	4,758,700	4,452,703
有価証券	217,670	—
商品及び製品	138,071	483,374
仕掛品	274,971	648,076
その他	260,463	270,672
貸倒引当金	△227	△386
流動資産合計	12,429,507	13,180,929
固定資産		
有形固定資産	354,726	346,327
無形固定資産	473,734	474,467
投資その他の資産		
投資有価証券	964,533	859,154
繰延税金資産	94,473	100,452
差入保証金	258,544	252,165
その他	379,039	422,687
貸倒引当金	△70,291	△70,311
投資その他の資産合計	1,626,300	1,564,149
固定資産合計	2,454,761	2,384,944
資産合計	14,884,269	15,565,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	633,777	724,566
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	69,412	48,995
リース債務	69,304	75,806
未払金	1,243,161	1,157,513
未払法人税等	100,593	154,866
賞与引当金	342,395	454,654
役員賞与引当金	3,300	—
受注損失引当金	16,335	—
その他	494,389	701,160
流動負債合計	2,972,668	3,417,565
固定負債		
長期借入金	16,756	30,532
リース債務	128,335	121,143
退職給付に係る負債	3,119,065	3,157,617
長期未払金	21,970	21,970
繰延税金負債	57,102	42,124
固定負債合計	3,343,229	3,373,387
負債合計	6,315,898	6,790,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	5,799,651	4,738,134
利益剰余金	△554,267	722,751
自己株式	△444,957	△438,197
株主資本合計	8,575,527	8,797,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,430	149,460
為替換算調整勘定	13,838	8,193
退職給付に係る調整累計額	△204,424	△180,521
その他の包括利益累計額合計	△7,156	△22,867
純資産合計	8,568,371	8,774,921
負債純資産合計	14,884,269	15,565,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	13,183,047	14,398,254
売上原価	10,400,605	11,045,150
売上総利益	2,782,442	3,353,104
販売費及び一般管理費	3,142,707	2,903,349
営業利益又は営業損失(△)	△360,265	449,754
営業外収益		
受取利息及び配当金	20,020	19,819
その他	12,196	11,592
営業外収益合計	32,217	31,412
営業外費用		
支払利息	1,767	1,159
有価証券売却損	—	1,301
為替差損	—	924
その他	114	258
営業外費用合計	1,881	3,643
経常利益又は経常損失(△)	△329,929	477,522
特別利益		
関係会社清算益	34,418	—
特別利益合計	34,418	—
特別損失		
訴訟関連損失	32,200	—
特別損失合計	32,200	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△327,711	477,522
法人税、住民税及び事業税	20,664	122,992
法人税等調整額	140,181	△5,978
法人税等合計	160,845	117,013
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△488,556	360,509
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△488,556	360,509

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△488,556	360,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103,675	△33,969
為替換算調整勘定	△33,517	△5,644
退職給付に係る調整額	17,197	23,902
その他の包括利益合計	87,355	△15,711
四半期包括利益	△401,200	344,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△401,200	344,797
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。